



八田与一銅像前



高雄蓮池潭



台北中正記念堂前

移情閣(孫文記念館)友の会と国際音楽協会の共催で、台南・高雄・台北の行程ではじめて台湾へ。

台南市の街、南国らしい蒸し暑さの中、緑豊かな公園の巨大な白亜の建物、奇美博物館でのコンサート。日本の歌演奏は素晴らしく、許文龍ご夫妻は感涙、周りの多くの方々も拍手喝采、合唱されたりと日台交流がなされ感動しました。因みに奇美博物館は家電などに用いられる高級プラスチックのABS樹脂製造「奇美実業」の創業者許文龍氏(91歳)が設立した台湾屈指の博物館です。「貧

しい家庭で育った子どもにとって海外に行き、世界の美術品に触れることは難しい」という問題意識から、世界から一流の芸術作品を集めたこの博物館を作られたそうです。「永久に大衆のためにあれ」をモットーとし、台南市民は入場無料、これは許氏が幼い頃、日本統治下に設立された台南博物館に無料で入れることができ、毎日通った原体験があるからであると新聞記事で知りました。(毎日新聞 2019.4.25) ありがとうございます。(小路 力子)

台湾旅行の事を思いだしながら書いてます。メモを取っていたら良かった!と後悔しています。台北は3回行きましたが、どれも定番のコースばかりでした。

今回、今までいきたかった八田与一のダム、台北101、おしゃれなカフェ、そして新幹線に乗ること、美容院でのヘッドスパ(テレビで見ました)、美味しいお食事、奇美博物館、夜市と全て叶いました!

また音楽家の皆様と同行する事で美しい歌と演奏を楽しむことができました。台湾の美しい自然、緑は宝だと思います。川沿いの芝生のバスケットやテニスコート。羨ましいです。

国の力を表すのは高層ビル群だけではなくて自然と調和する生活だと思います。旅行の企画から準備、調整と大変なご苦労だったと思います。おかげでとても充実した楽しい時間を過ごせました!(松本 章子)

今回の移情閣友の会35周年記念日台交流の旅は、友の会と国際音楽協会の共催で、会員である神戸留日華僑総会陸超会長の日華航空サービスにお世話になり、三泊四日の台湾旅行に行ってきました。1日目は、台南空港に着いた後、延平郡王祠、孔子廟、次に100年以上歴史がある林百貨店で買い物と今、日本ではやりの豆花とタピオカを食べました。初日は泊まった台南大飯店で晩御飯を食べた後、ヘッドシャンプーマッサージに日本人の友達を案内しました。みなさん、気持ちよかったですと大変喜んでくださいました。2日目は、烏山頭水庫と八田与一記念公園に行き、飛虎將軍廟見学。その後奇美博物館へ。普段公的な場に姿見せない創業者の許文龍御夫妻も見える中、張先生の国際音楽協会によるロビーコンサートを楽しみました。大勢の観客が、日本語と台湾語の曲を歌い、楽器演奏しました。最後みんなで大合唱、大変盛り上がっていました。昼に高雄夢の飲茶をいただいた後、私の実家近くの蓮池潭に行き、龍と虎を

巡り、高雄の綺麗な景色「壽山」をみて、その後、澄清湖でお土産を買いました。夕食に海鮮料理を食べた後に日本人の友達をマッサージの店に案内しました。3日目は、左営駅の新幹線で台北へ。まず、今回主の目的である国父紀念館へ表敬訪問。国父紀念館で大歓迎を受け記念品交換、DVD鑑賞の後、中華民国国父孫文銅像に献花し、衛兵交接儀式を見て、日本から来た研究員に館内を案内してもらいました。国際音楽協会によるコンサートではたくさんの観客と一緒に歌い、大変感動しました。飲茶の昼食をとり、午後は中正記念堂と故宮博物院へ。とても忙しい一日でした。

4日目は平溪へ行って大空に上がると願いが叶いとされる天燈に願い事を書きました。とても楽しかったです。午後は総統府の一階を見学して、台北101の鼎泰豊小籠包で昼食を楽しみ、大満足でした。今回の旅行は本当に楽しかったです。又、台湾に行きましょうね。(宮永 利智)